

じっくり心をこめて

スロー フード

133



小松菜と長いもの納豆和え

長いものは、ポリ袋に入れて叩くと、器具にぬめりがつかず、片づけが楽です。叩きすぎるとどろどろになってしまうので、シャキシャキとした歯ごたえが残るようにしましょう。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員の皆さん

材料 (4人分)

- ・小松菜 200g ・長いも 80g ・納豆 80g
- ・きざみのり 適量
- 【調味料】
- ・しょうゆ 大さじ1 ・練りからし 小さじ1/2

作り方

- ① 小松菜はゆでて、2～3cmの長さに切り、水気を絞る。
- ② 長いものは、ポリ袋に入れ、すりこぎなどでたたいておく。
- ③ 納豆に【調味料】、②の長いものを混ぜ、小松菜を和える。
- ④ 器に盛り、刻みのりをのせる。

せきかわ文芸

山柳

雪の里育てる野菜 増す甘味
ふきのとう 苦味の先に 春がある

小野善三郎 (千葉県市川市)

短歌

雪消えの庭先に咲く寒椿
杖付く吾を励ますがごと

須貝 恵美 (高田)

ひとたびはおろがむものとみちのくの
金色堂に夫とたずねむ

渡辺千恵子 (上関)

啓蟄と雖もこゝは雪降りて
土の虫達冬ごもりする

佐藤 庄七 (愛広苑)

関山俳句の会作品

きさらぎや長^{のレド}開けき日^{ひより}和どこへやら

渡辺しづい

冬ざれや長き手紙を書き直す

渡辺しづい

冬日和家族の好み編む毛糸

渡辺しづい

青空の飛行機雲も春めきぬ

渋谷 くに

いつしかに雪見る日無く春近し

渋谷 くに

絵手紙に季節先どりねこ柳

渋谷 くに

春雪に足跡残し獣道

伊藤 久恵

青空へ声を残して雁帰る

伊藤 久恵

下萌えや大地の息吹き聞こえ来る

伊藤 久恵



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

新年度が始まりました

今年度もIVUSAをよろしく願います。

先日、関川村での活動にたくさん関わってきた4年生が卒業しました。今回はそんな卒業生からのメッセージをお届けします！

自分がしたこと以上に学ばせていただいたことが多かった3年間でした。4月から高松市で働きますが、故郷関川村を思い出し頑張ります！ありがとうございます！
(立命館大学卒・上野涼子)

これまで関川村には4度帰りました。帰る度にあなたかく迎えてくださっていたのが心に残っています。ありがとうございます！
(立命館大学卒・上田哲也)

関川村と出会うまで人と関わるのを億劫に感じていました。ですが、人本来のあったかさに触れ、いつの間にか何度も帰っていました。なにもないけど、心のある関川村は私の居場所になりました。また帰ります。また飲み交わしましょう！
(日本大学卒・薄井聡之)

ふとした時に帰りたくなる関川村。僕の第二の故郷です。IVUSAは卒業しますが、関川村には毎年帰ります！そして僕らの可愛い後輩たちの事もたくさん可愛がってあげてください。これからも宜しくお願いします！
(国士館大学卒・鈴木 尚)



◆1年間このページを担当させていただきました2人ですが、今月号でこの担当から卒業することになりました。

私自身、関川村そして村民の皆様のごが大好きで、このページの担当を引き受けさせていただきました。広報紙の担当は今年度で終わりますが、私はこれから関川村のことを知り、考え続け、溢れるこの想いをカタチにできるよう、何かしら行動し続けたいと思います！

1年間本当にありがとうございました！！
(東洋大学4年 丸山貴子)

この「広報せきかわ」を通して村の方との会話が弾んだこともありました。今回で最後になりますが、私たちはまだIVUSAを卒業するわけではないので、また何回も何回も帰りたいなと思います。その時は、また来たのか！って笑顔で迎えてください。笑
(国士館大学3年 石川歩美)

来月からは新しい担当者になります！お楽しみに

せきかわ文芸

せきかわ山柳会作品「雑詠」

早朝に宮の鈴鳴る受験の日	南	セツ
冬ジャンパー重く感じて春近し	南	セツ
北国の春を炬燵 <small>こたつ</small> で口ずさむ	南	セツ
雑炊や戦中の食堂思い出し	青木	慶一
冬うらら飛行機雲の五、六本	青木	慶一
白鳥帰る初めて見しと妻の言う	青木	慶一

足音も確かに春へ歩を進め	平田	千恵
無為無策一日過ぐすこれも幸	平田	千恵
春の使者杉の花粉に乗って来る	平田	千恵
豆まく子少なくなつて鬼が増え	南	セツ
水戸黄門お茶の時間をつれて来る	南	セツ
受験日が迫り家中しのび足	南	セツ
筆使い恩師の教え懐かしむ	本間	イミ
隣から漬物持参の話好き	本間	イミ
御馳走のかくし味にと自分漬	本間	イミ

